

科目名	長期インターンシップ	英文表記	Long Term Internship	H23.5.13		
科目コード	6021					
教員名：【生物資源】池松真也・山城秀之 技術職員名：				修正		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・生物資源工学コース	専1	選	学修	4単位	実習	集中講義
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合		
	①実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。			①研修（日報による報告）（30%），研修先評価（30%）		
	②社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。			②研修先評価（20%）		
	③共同研究や受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。			③研修報告による評価（20%）		
			上記①②③の60%以上で合格とする。			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学
			○	◎	JABEEプログラム教育目標	A-1,A-3,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3
授業概要、方針、履修上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力（企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など）を実践レベルで身につける。 企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、単位時間が160時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等を課すことによって時間を満たす					
教科書・教材	企業作成資料，教員作成資料					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスする。			
2	インターンシップ先企業研究	9	企業調査，マッチング			企業調査
3	インターンシップ	160	約1ヶ月程度企業研修を実施する			与えられる課題・調査項目
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書を作成し，提出する。			
5						
学習時間合計		180	実時間		150	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 企業調査，報告書作成（20時間）を含め，180時間以上とする。公的機関で実施の場合も原則本シラバスに従う。						